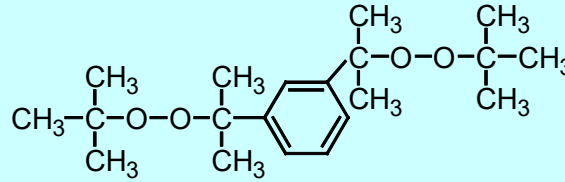


パーブチル[®]P (PERBUTYL[®]P)
 ~ α, α' -Di(t-butylperoxy)diisopropylbenzene ~



分子式：C₂₀H₃₄O₄ ， 分子量：338.49 ， 理論活性酸素量：9.45%

特 徴 パーブチル[®]P、パーブチル[®]P-40、パーブチル[®]P-40MB (K) は、ポリエチレン、エチレン-酢ビコモノマー等のポリオレフィンやEPDM等の合成ゴムの架橋剤に使用されています。特徴として、パーブチル[®]Pはパークミル[®]Dに比べ高い架橋効率を示します。更に、パークミル[®]Dで見られる不快な臭気も無いことから作業環境の改善に効果があります。

品 質	パーブチル [®] P	パーブチル [®] P-40	パーブチル [®] P-40MB (K)
純度	98%以上(工業純品)	40%	40%
希釈剤		不活性充填剤	シリカ、ポリマー他
外観	白色粉体	白色粉体	白色ペレット

保管温度	室温冷暗所30℃以下
------	------------

包装形態	10kg (10kg×1)
------	---------------

一般的性状	比重	0.915 (60℃)	未測定	未測定
-------	----	-------------	-----	-----

半減期及び活性化エネルギー	1分間半減期温度	1時間半減期温度	10時間半減期温度	活性化エネルギー	頻度因子
	175.4℃	137.7℃	119.2℃	166.3kJ/mol	9.93×10 ²⁰ hr ⁻¹

(ベンゼン中における熱分解：過酸化物濃度：0.10mol/L)

安 全 性	圧力容器試験 (消防式)	1mmオリフィス	10/10	0/10	0/10
		9mmオリフィス	0/10		
熱分析(DSC)	発熱開始温度	155℃	156℃	165℃	
	発熱量	1130J/g	406J/g	561J/g	
引火点		115℃ (クランプ開放式)	>110℃ (セタ密閉式)	>110℃ (セタ密閉式)	
発火点(ASTM E659)		479℃	504℃	未測定	
SADT		85℃	未測定	未測定	
摩擦感度試験		>350N	>350N	未測定	
落錘感度試験		>60cm	未測定	未測定	

適 用 法 令	消 防 法	第5類第2種 自己反応性物質 (指定数量：100kg)	非危険物	非危険物 指定可燃物
	労働安全衛生法	危険物	通知対象物を含有せず	
P R T R 法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず			
船 舶 安 全 法	酸化性物質類 有機過酸化物	非該当		
航 空 法	有機過酸化物	非該当		

そ の 他 の 分 類	国連分類	クラス5.2 国連番号3106	クラス5.2除外 国連番号なし
	CAS-No.	25155-25-3	
	官報公示整理番号	(3)-1067 (化審法, 安衛法)	
	TSCA	登録有り	
	EINECS	246-678-3	
	ポリ衛協：ポジティブリスト	登録あり (PS・PE・PP・AS・MS)	未登録

記載内容の取扱い
 記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、peroxide@nof.co.jp までお願いします。